

2024 年度 海外研究員成果報告書

人文学部 英語英米文化学科 准教授 三上仁志

出張期間

2024 年 9 月 5 日～2025 年 5 月 31 日、2025 年 6 月 6 日～2025 年 6 月 23 日、
2025 年 6 月 30 日～2025 年 8 月 27 日

研修先

Department of Applied Linguistics, the University of Warwick, Coventry, United Kingdom

研究課題

大学生英語学習者のグリットの通時的変化

研修成果

The University of Warwick 滞在中に、以下の研究活動をおこなった。

1. 研究課題の推進

「やり抜く力」とも呼ばれるグリットは、長期的な目標に向けた情熱と粘り強さから成る性格特性である。グリットは多様な分野で成功を収めた人々に共通する特性とされており、言語教育の分野においても、外国語学習に対する情熱と粘り強さ（L2 グリット）をテーマとした研究が、近年、世界的に増加している。一方で、新しい概念である L2 グリットがどのように獲得されるのか、そのプロセスについては依然として不明な点が多い。このような背景から、海外研究期間中は、the University of Warwick の応用言語学部 に所属する教員の協力を得つつ、L2 グリットの獲得プロセスに関する研究を進めた。

海外研究期間中に、日本の大学の英語科に所属し、かつ GPA と英語テストのスコアが高い（ことから L2 グリットの水準も高いことが予測される）8 名の学生を対象として、L2 グリットの獲得過程を明らかにすることを目的としたインタビュー調査を行った。データ分析には、各学習者の経験の固有性を残しつつ、データの比較可能性を高めることが可能なテーマ分析と呼ばれる手法を採用した。結果として、従来の研究枠組みでは捉えることができなかった L2 Grit の獲得過程の一端を明らかにすることができた。当初予定通り、海外研究期間中にデータ分析を終了し、現在、研究成果を論文にまとめている。論文は、2025 年中に学術誌に投稿予定である。

2. 論文投稿（4 本）

海外研究期間中に、研究課題と関係する原著論文を4本投稿した（いずれの論文も査読中であるため、内容の紹介は控える）。4本中3本は国際共同研究であり、うち2本で第一著者と責任著者、1本で責任著者となっている。また、国際共同研究には、the University of Warwick の博士課程に在籍する学生との共著1本が含まれている。応用言語学分野での典型的な査読期間（1年前後程度）から鑑みて、2025年後半から2027年前半の論文発表を見込んでいる。